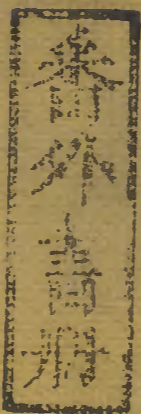


和書湯草

四



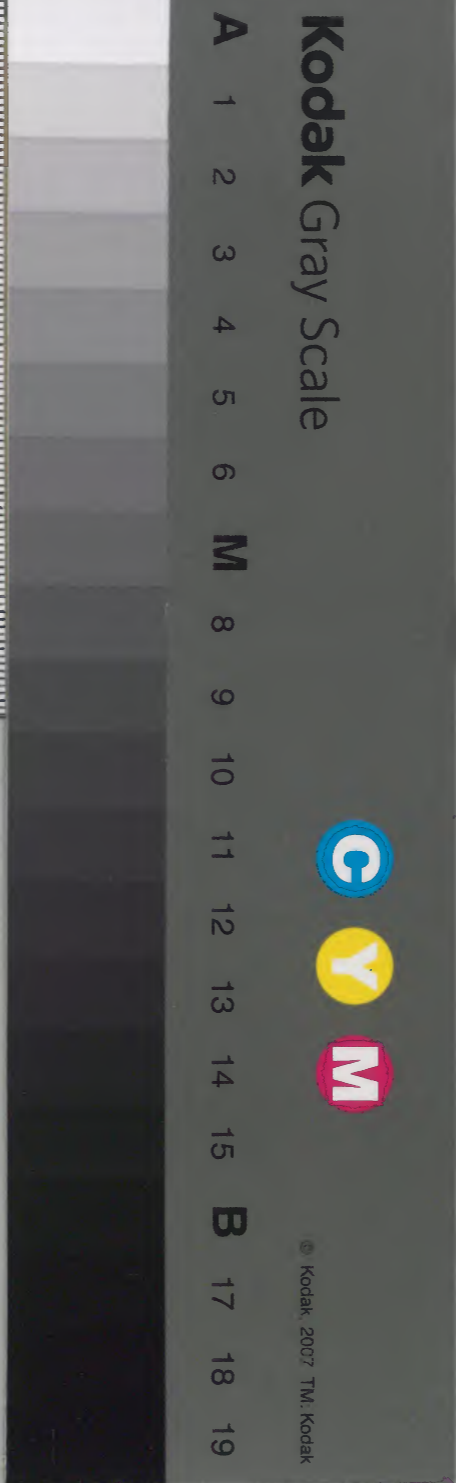
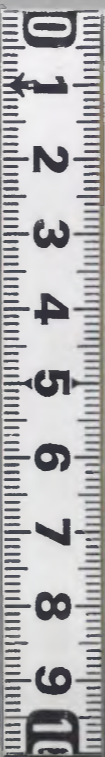
和書門類			
三	四	五	六
一	〇	九	七
冊	架	函	號

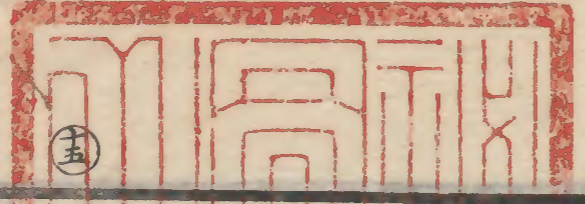
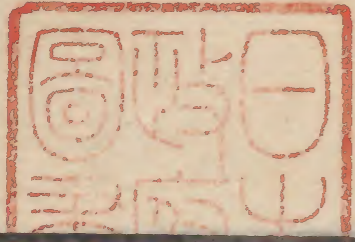
庫文閣内		和
二	三	書
〇	四	
架	冊	類

(四)

内閣文庫	
番號	和 34567
冊數	4 (4)
函號	212 126

共四

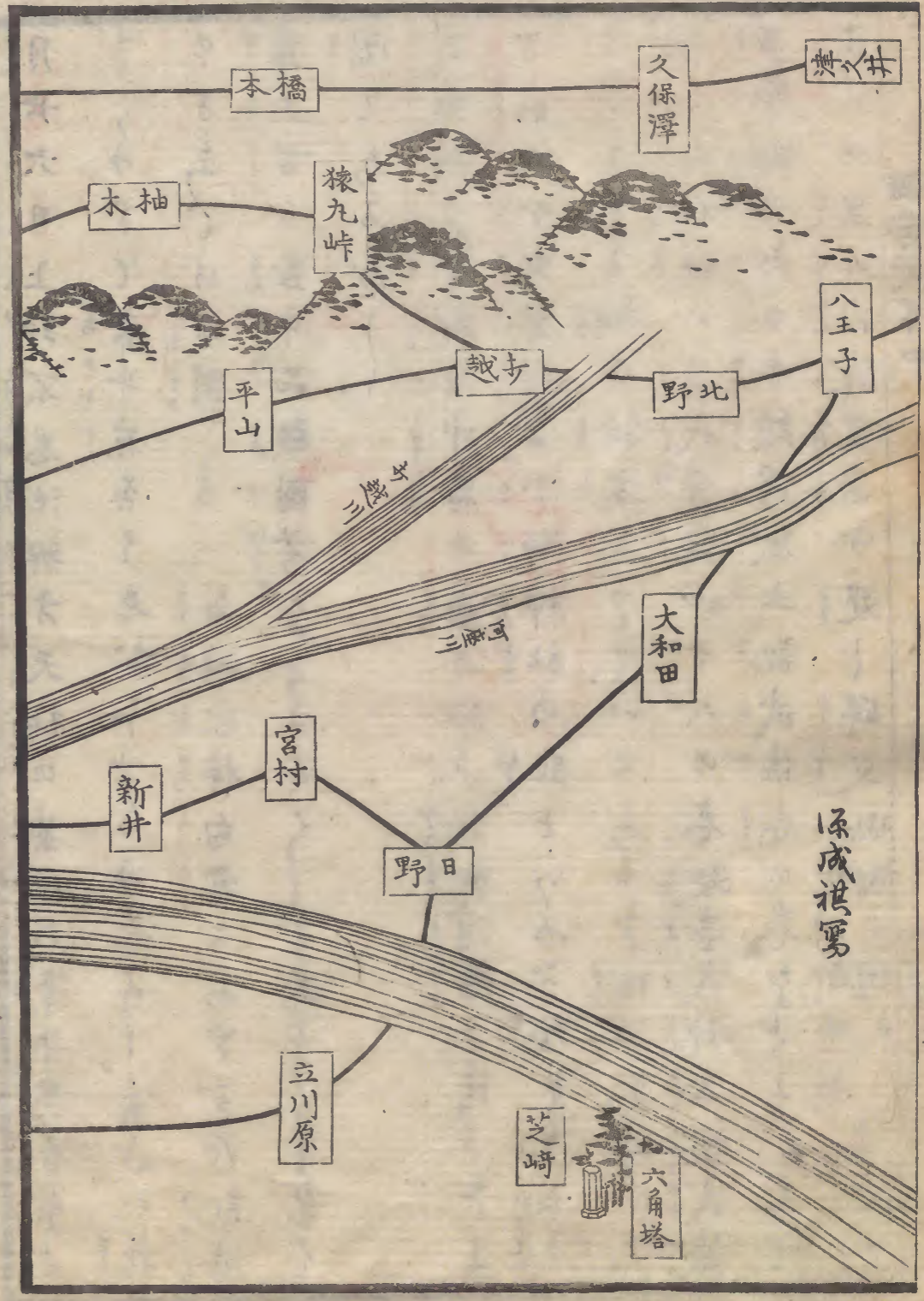
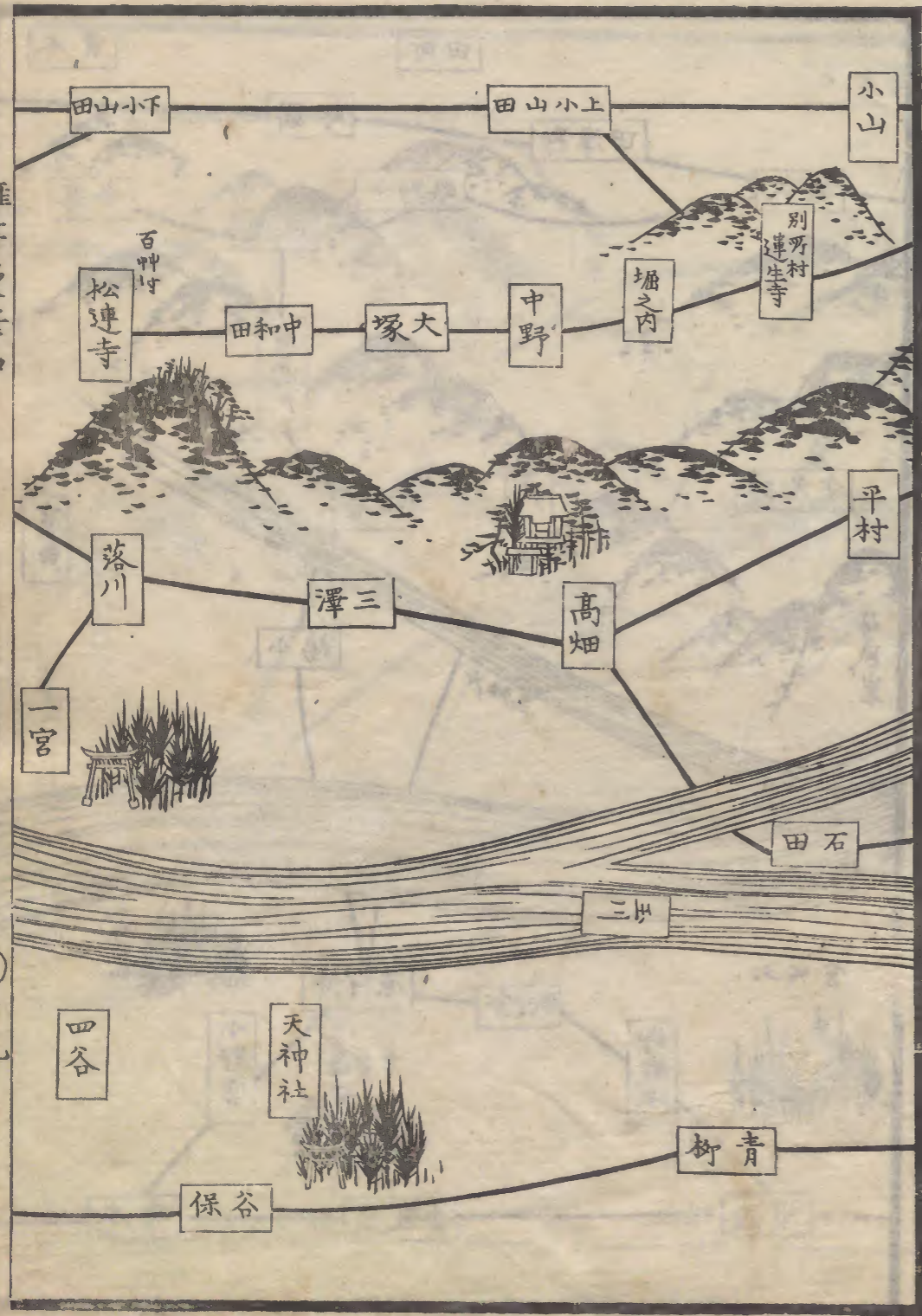


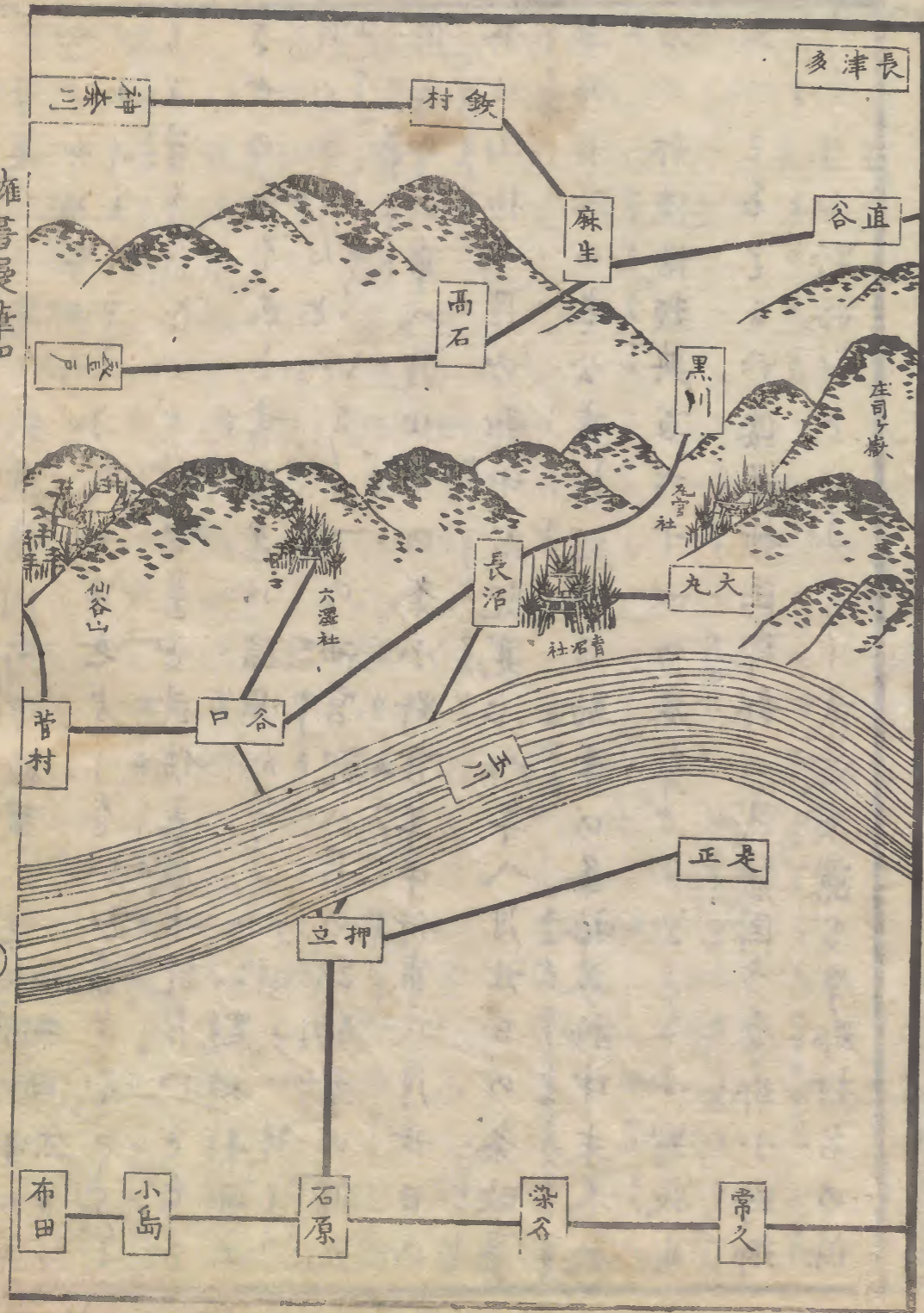


月廿六日。上野不忍池辨才天社の茶屋の牽牛花合を
 きらめ。さて牽牛花をうゑおろすゆゑより。まゝの花
 のまゝの品圖ともの。谷崎永律句當にあやかり記峰
 岸正吉の牽牛品類圖考などよくよくあることなむ。
 武蔵国多摩郡府中宿の南の。分配河原ははるまき
 の小野宮村。小野神社の趾とつらつら。五丈
 あり。あまのこ。榎の枯木あつていとあるき地のとぬえ
 野神社ハ三代實録四十六の巻。延喜式神名帳武蔵
 多摩郡の部。日本總國風土記武佐志の巻。なごよんて
 の里人内藤重喬が建し碑文。信野宮廟。平。まゝハ

擁書漫筆四

○廿八





空華集五の巻附録武藏国府中故事の條武藏四年九月
依田伊織編無為小そのゆゑをいひるを
らよ書を信ひやとど。と武佐志風土記はいとち
きせのふをふと書なせハ信用か。一。按寛永年間
はくそくんとい。一の西宮記八月の部駒牽の條九
條年中行事八月廿日の條。小野宮年中行事八月廿日の
條。北山抄八月の部中右記寛治八年八月廿日の條。政事
要略廿三の巻。公事根源八月駒牽の條拾苴抄中末巻牧
名の部。禮儀類典百六十四の巻。な。と。小野牧
あ。の。こ。る。こ。よ。や。倭名抄国郡部の武藏国多摩郡小野郷
ハ。今。は。小。野。路。村。と。よ。ぶ。よ。武藏演露多摩郡村名の條

よい。な。を。そ。こ。は。府。中。よ。と。玉。河。を。へ。た。て。二。里。を。と。り
南。に。離。き。り。ふ。る。き。神。社。あ。る。き。鯉。口。な。ど。あ。り。ま。つ。を。き
や。ど。の。岩。子。寺。と。り。よ。あ。り。て。古。き。鐘。の。洪。鐘。あ。り。と。な
ん。い。づ。せ。い。と。ま。あ。ら。ん。ぬ。ま。つ。ね。ま。わ。し。ひ。と。と。せ。大
田。南。畝。老。人。が。お。ろ。や。け。お。と。な。り。ま。つ。て。こ。の。こ。ろ。り。よ。ま。き
と。り。な。り。謁。小。野。宮。廟。の。り。よ。詩。あ。り。延。喜。神。名。小。野。宮
春。田。舊。府。想。皇。風。半。身。枯。木。堪。牛。蔽。匠。石。徒。過。櫟。社。中。重。喬
分。配。河。原。の。田。中。より。ち。と。出。て。矢。の。ぬ。を。い。め。も。つ。と。
こ。の。春。湊。浪。話。中。卷。の。備。中。国。人。伊。庭。藤。太。夫。が。射。し。矢。安
齋。隨。筆。後。集。十。四。の。卷。の。九。根。の。第。二。圖。武。器。考。證。よ。永。昌
記。十。四。の。岡。本。記。十。六。の。を。引。て。い。つ。る。利。雇。矢。な。ど。の。と

権書漫筆四

〇三

セシ歌アリ。又三月十日ヤスライ祭ニ躍リ歌フ謠アリ。
俱ニ寂蓮ノ書也ヤスライ祭ノ日ハ今宮社司ノ家ノ壁
間ニコレヲ掛ヤスライ花ハ公事根源ニ出ル花鎮祭十
リ云云。与清按。下。遠碧軒記一の卷。安樂花の祭は上の御
前宮下の御前宮の系もて。上野鷲野大門三村。上賀茂
よ。也。サ。加。る。け。遠。ま。て。心。傳。志。村。より。不。拘。之。云
云。この卷。也。も。い。る。い。の。る。高。雄。の。起。り。高。雄。ハ。法
華會也。す。い。て。よ。と。ま。を。や。も。い。や。り。一。也。云
云。宗。按。也。け。い。も。ハ。大。尊。會。田。哥。なり。云云。又云高雄
縁記。法華會也。す。い。て。よ。と。ま。を。や。も。い。や。り。一。也。云

と云とぞ云云。ま。管見野水抄四の卷。安齋隨筆小車錦の
卷。など。よ。や。す。い。の。る。足。ゆ。安齋隨筆船艫訓の卷。の
額。烏。帽子。夫。木。杵。ニ。西。行。法師。ノ。哥。二。條。撓。テ。雀。弓。張。男。童
額。烏。帽子。ノ。欲。氣。十。九。哉。年。中。行。事。繪。卷。物。ニ。男。童。ノ。額。ニ
黒。ク。三。角。ナル。小。キ。物。ヲ。ア。テ。タ。ル。跡。所。々。ニ。見。エ。タ。リ。是
レ。夕。七。エ。ホ。シ。也。按。幼。帝。御。元。服。以。前。ハ。空。頂。黒。幘。ト。云。テ。
黒。ク。羅。ニ。テ。作。リ。如。此。ノ。形。ナル。物。ヲ。御。額。ニ。ア。テ。タ
マ。フ。也。是。御。冠。ノ。代。也。額。烏。帽子。モ。コ。ノ。類。ノ。物。也。今。世。モ
民。家。ニ。テ。死。人。ノ。額。又。葬。送。ノ。供。者。ノ。額。ニ。白。紙。ニ。テ。三。角
ナル。物。ヲ。作。テ。ア。ツ。ル。ハ。額。エ。ホ。シ。ノ。遺。製。也。古。キ。事。モ。古
キ。詞。モ。田。舎。民。家。ニ。傳。ハ。リ。タ。ル。コ。ト。聞。ア。リ。云。云。與。清。按

擁書漫筆四

二やすうい巻の画卷の。雀弓射小童ハひるひえがよま
 前髪ふき礼きて西行の号子そのさゆよくかたし。されば
 ちげをむ毛子流とるるか。このさゆたのきよあはるは
 月げふきき子月ドして。もの礼するさゆより月く。
 華送の時額烏帽子をかぶる。華送式たぶらハんえん。
 華送式一卷奥多建保五年二月比以或人本書了とあはる
 日本国見在書目録卷末ハ本朝見在と古き。河海抄 一卷ハ
 正五位下行陸奥守兼上野権介藤原朝臣佐世奉勅撰よ
 一。卷端又ハ。當時西蕃よ貢書どものかざりを載
 ていとらうある書。凡あがらる世の倭漢の書の名ハ

天

清原業忠の本朝書籍目録の末巻ハ永享十一年清大外記業忠依御
 信西藏書目録十五の巻ハ載。八雲御抄 一の巻
 色葉集二卷拾芥抄上ハ本朝本書事ハとんえちの
 書籍記観阿の撰也。撰書籍目録大全唐本類書考二箇洞
 和板書籍考辨疑書目録書籍名數合類書籍目録大全國
 朝書目足利學校書目廣益書籍目録大全群書一覽
 載多。佐世ハ日次記十五の卷康治二年五月十四日の
 条。於大納言伊通卿送使故借古今集注孝經寫付使
 被送之佐世朝選也。九卷其七卷佐世草木也了皆有
 點也世之寶物無如之第九卷奥以朱書云寛平六年二月

擁書漫筆四

三十六

二日一勘了于時謫在陸奥多賀国府云云。江談抄一の卷
 攝関家夏の部。藤氏獻策始佐世也。昭宣公家司ニテ。被
 家起云云。本朝續文粹六の卷。敦光朝臣申陸奥守狀。京
 官人兼任陸奥守例。藤原佐世寛平三年正月。任陸奥守兼
 大藏少輔云云。もと見え。三代實録朝野群載大系圖大日本
 史二卷十傳六の。よもむるむせ。かうごうてあべい。
 二の卷石山寺縁起画詞の旅の御假屋の条。大和物語
 の卷六の亭子のみらどい。やまよほぬまうでまひけ
 り云云。うらいでの濱よほれほぬまうでまひかり
 やどむをほくらうて。兼のむのいとおも。うきをうらて。
 御まうけほらうまほらうら。とあるを補。○この卷

①

毒をぶきとりまりの条とぐきさの矢の考。江家次第二
 の卷大臣大饗の条の鷹飼装束。鳥頸太刀とあるを引
 けし。○四の卷女房男房の条。日次記七の卷康和五
 年の條の藏人持參臺盤所女房取之持參御帳内令供阿
 未加豆子細見九条殿記彼時女房勤仕此役然而有院宣
 被付男房也云云。江家次第六の卷三日御燈事の条の寛
 平七年御燈日行幸曲水宴内藏寮供殿上男女房酒肴云
 云。明月記一の卷建久三年三月十五日の條の殿上男女
 房素服云云。かどあるを神。○同卷腹帯の考。小右記
 永觀三年五月一日の条。以白色夜令著兒以産者腹結綯用之
 女子之前々以件綯用之者云云。長門本平家物語建礼門院御

擁書漫筆四

○三十七



引用書目

古事記
日本書紀
皇太神宮儀式帳
古語拾遺
日本三代實錄
日本紀略
百練抄
中右記
日記
公卿補任
吾妻鏡
大系圖
榮花物語

一名十四卷系圖

一名世純物語

擁書漫筆四

古事記傳

先代舊事本紀

偽書

止由氣宮儀式帳

日本文德實錄

類聚國史

帝王編年記

天曆御記

小右記

山槐記

園大曆

吾妻鏡脫漏

大日本史

水鏡

○引用書目一

後三年画詞一名後三年記

源平盛衰記

義經記一名判官物語

太平記

鎌倉大草紙

相州兵乱記一名關東兵乱記一名小田原記此外有數名

甲陽軍鑑

義輪軍記

扶桑見聞私記一名大江廣元日記偽書

令義解

賊盜律

延喜式

政事要略

北山抄

參考保元物語

平家物語治版本

五代帝王物語

曾我物語

高國記

管領九代記一名鎌倉九代記

北條五代記

天正記

本朝三國志

令集解

真觀儀式

類聚三代格

西宮記

江家次第

九條年中行事

禁中日中行事

公事根源

禁秘抄階梯

拾芥抄

侍中群要

后宮御著帶部類

今川大草紙

家中竹馬記

本朝文粹

朝野群載

性靈集補關抄

濟北集

五山堂詩話

擁書漫筆

小野宮年中行事

鎌倉年中行事

禁秘抄

簾中抄

禮儀類典

中宮御産部類記

御産所日記

宗五大草紙

娠入記

本朝續文粹

本朝無題詩

菅家文章

梅花無盡藏

萬葉集

○引書目二

萬葉代匠記

萬葉考

萬葉略解

後撰集

後拾遺集

續後撰集

新拾遺集

菅家萬葉集

堀川百首抄

古今六帖

現存六帖

月詣集

和藻朗詠集注

類題和歌集

萬葉類林

萬葉槻之落葉

古今集

拾遺集

新勅撰集

續後拾遺集

神樂歌

堀川百首

次郎百首

新撰六帖

萬代集

和藻朗詠

夫木抄

雪玉集

伊勢集

散木集

源賴政集

左京大夫顯輔集

明日香井集

狂歌酒百首

類葉集

耕雲千首

靜舍集

齊明紀童謠考後按

能因歌枕

和歌童蒙抄

清輔奧義抄

八雲御抄

擁書漫筆

曾丹集

散木集頭昭注

相摸集 一名玉藻草

拾玉集

道堅家集

古學和歌集

為尹千首

縣居集

異名分類抄

秘藏抄

綺語抄

俊賴口傳

袖中抄

色葉和難抄

一名無明抄
又名俊秘抄

○引書目二

色葉集

歌林良材

吳竹集

歌林拾葉集

雜和集

濱松中納言物語

伊勢物語

伊勢物語愚見抄

伊勢物語闕疑抄

山口記

伊勢物語集註

勢語臆斷

伊勢物語古意

蜻蛉日記

藻塩草

言塵集

吳竹集小本

和歌要略抄

冠辭考

空穗物語

伊勢物語月閑抄

伊勢物語初冠

伊勢物語拾穗抄

伊勢物語惟清抄

伊勢物語童子問

伊勢物語章甫抄

伊勢物語參考

蜻蛉日記解環抄

源氏物語

細流抄

花鳥餘情

林逸抄

孟津抄

紹巴抄

明星抄

源氏物語提要

窺原抄

湖月抄

源氏物語新釋

大和物語

枕草子春曙抄

横笛草子

弄花抄

河海抄

一葉抄

紫明抄

仙源抄

原中取秘抄

岷江入楚

萬水一露

源氏物語首書

源注拾遺

源語掇

袂衣草子

中勢内侍日記

伏見常盤草子

擁書漫筆

○引書目四

和田酒盛草子

蛤草子

文正草子

梵天国草子

本草倭名

倭名類聚抄

童蒙誦韻

色葉字類抄

平他字類抄

新韻集

倭玉篇

大平記音義

四喜管倉集

倭爾雅

富士人穴草子

御曹司嶋渡草子

猿源氏草子

小敦盛草子

新撰字鏡

類聚名義抄

字鏡集

節用集易林本

下學集

撮壤集

運步色葉集

多識篇

節用集大全

日本釋名

東雅

物類称呼

類聚名物考

名物六帖

勅撰名和歌抄出

新撰歌枕名寄

文明三年字本片假名名寄

類字名和集

名和便覽

源光行海道記

廻國雜記

東海道名和記

岐岨日記

武野遊草

蓋可號十四
代集名寄款

書言字考

和名抄釋義

倭訓集

文藻行潦

歌枕名寄

歌枕玉叢抄教書

松葉名和集

陸奥名寄

東関紀行

宗長東路之累

西遊行囊抄

伊香保口遊

調布日記

擁書漫筆

○引書目五

道之幸

山城名勝志

山城四季物語

和州舊跡幽考

一名大和
名所記

奥羽觀迹聞老志

東国名勝志

東遊雜記

武藏野地名考

武藏志料

武藏演露

江戸總鹿子新增大全

續江戸砂子

新編江戸志

堪囊抄

洛陽名所集

一名山城
名所記

五畿内志

都名灭圖會

一目玉梓

舊蹟遺聞

東国旅行談

武佐志風土記

偽書

武藏國圖

四神地名錄

吾妻廻

江戸砂子

東都事蹟合考

江談抄

塵添堪囊抄

東見記

結駝錄

本朝俚諺

南留別志

茅窓漫錄

東牖子

丹水子

管見野水抄

閑窓倭筆

柳巷談苑

安齋隨筆前集

後院

長烏帽子

漫錄

雜問答考

廣益俗說辨

本朝世事談綺

春湊浪話

北山醫話

牛馬問

塩尻

遠碧軒記

山陰雜筆

羊山紀聞

安齋隨筆後集

舳艫訓

小車錦

二上峰

擁書漫筆

引書目

雲隱

秋草

好古小錄

骨董集

閑田耕筆

隣女晤言

宇治拾遺物語

唐物語

砂石集

法華驗記

圓光大師画詞傳翼贊

日蓮聖人註画贊

因幡堂藥師縁起

元亨釋書

顯錄

赤鳥

近世奇跡考

梅窓筆記

枕苑日涉

今昔物語舊本

撰集抄

古今著聞集

日本靈異記

圓光大師繪詞傳

津戸發心集

一遍聖繪

篆隸萬象名義

石山寺縁起画

桂川地藏記

明衡往來

庭訓往來

庭訓往來諺解大成

日本國現在書目録

信西藏書目録

日本書籍考

本朝書籍記

和板書籍考

二酉洞

合類書籍目録

國朝書目

近代名家著述月録

日高川画詞

坂東三十三所觀音靈場記

新猿樂記

庭訓往來抄

新撰類聚往來

本朝書籍目録

本朝本書事

辨疑書目録

新撰書籍目録大全

足利學校藏書目録

唐本類書考

書籍名數

群書一覽

太秦牛奈繪詞

十二月遊画詞

一名雲列消息

一名街室書目録

擁書漫筆

○引書目七

金玉画府

夜須禮花画詞

攝津親秀讓狀

倭漢三才圖會

清俗紀聞

本草啓蒙

牽牛品類圖考

鳥追詞 一名青陽唱語

卷懷食鏡

水鳥記画卷 一名酒戰談

水鳥記江戸板

曾呂利狂歌咄

地黄坊事跡考

夜須禮花考

宇治相国高野參詣記

武器考證

集古十種

大倭本草

あそび記

酒飯論

濱真砂

藥師寺標銘釋

水鳥記京板

大佛物語

武道傳來記

武者物語

子玄子産論

先代舊事大成經 偽書

日次紀事

滑稽雜談

桃郎傳

菟玖波集

油粕

諸国獨吟集

新續大筑波集

増山井

箕纏輪

初櫻浅間嶽

詩經註疏

詩經說約

爾雅註疏

徧無為空華集

日本歲時記

華實羊浪草三餘抄

千住酒戰記

守武千句

毛吹草

滑稽太平記

俳諧渡奉公

俳諧新式

芭蕉句選

毛詩鄭箋

詩經集傳

五經纂

爾雅正

擁書漫筆

○引書目八

禮記註疏
史記
後漢書
北史
唐書
莊子
呂氏春秋
世說新語補
唐律疏議
埤雅
武備志
太平御覽
事物紀原
五音集韻

儀禮註疏
漢書
三國志
梁書
宋史
國語
王子年拾遺記
唐六典
杜氏通典
三才圖會
外國竹枝詞
字彙
韻府群玉
品字箋

正字通
佩文韻府
遊仙窟
輟耕錄
七修類稿
癸辛雜識
遵生八牋
群芳譜
本草綱目
秘傳花鏡
賢劫經
佛說七佛經
修行道地經
瑜伽師地論

康熙字典
文選
文心雕龍
書言故事
帝城景物略
陵餘叢考
熙朝樂事
本草蒙筌
證類本草
靈樞
大寶積經
現在賢劫千佛名經
佛說灌頂菩薩經 偽經
阿毗達磨俱舍論

樞書漫筆

○引書目九

根本說一切有部苾芻尼毘奈耶

十誦律

法苑珠林

慧林一切經音義

龍龕手鑑和板

禪林類聚

拾遺

續日本紀

權記

貴嶺問答

草廬雜談

溫古隨筆

續本朝書籍記

直泰夜話

毘奈耶律

續高僧傳

翻譯名義集

新集藏經音義隨函錄

龍龕手鑑唐本

長門本平家物語

後鳥羽院熊野御幸記

三國傳記

閑秘錄

徵古畱錄

廣益書籍目錄大全

武藏野

京童

葬送式

太平廣記

南史

續齊諧記

連寺舊記

通計五百十部

狂言記外

白氏長慶集

列朝詩集

酉陽雜俎

荆楚歲時記

攤書漫筆

○引書目子

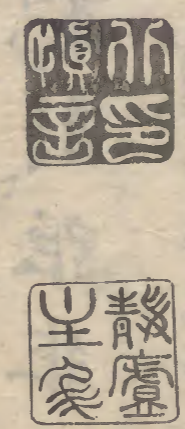
余嘗謂學者之患。在貪多而
無條貫矣。夫如是。終身役之。
毫無所得。真一存之散錢。
身。豈謂之我觀書乎。抑書
觀我也。加旃。學者多貧。不能
藏書。其或羨書。亦不能好焉。
余友高田文儒。殊異于此。志

學以來。手不釋卷。足不離榻。家道素豐。以故藏書汗充。且其志在貪多。而條貫具備。因我之觀書。乃非書之觀我矣。余居常。逢人說項。蓋為之而已。近日著擁書漫筆。若干卷。余受而讀之。考證精覈。傳述詳盡。殆

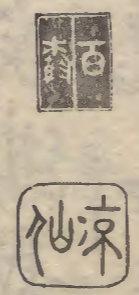
無疵漏。可謂好書矣。其載今入中傳及雜考。倣王阮真耶。其載圖繪。擬郎卓擗取。距非學者條也。書為汗充者。豈至于此。此書一出。余之口文儒而不置。殆為可徵也。余性有奇癖。一得生書。如得真珠。或竟夕不能寐。

今也寓目考編。宿癖頓發。目不交睫。
 於是乎剔燭呼筆。而作跋言。
 文化十三年十一月初三夜

梅園樵叟北慎言撰



友人 般若 瀨百樹書



耕文堂藏版目錄

松屋高田先生著 圖入大本 全五冊
 擁書漫筆

此書を古今の文人雅客の付託を以て其の流
 或は之を以ての雑沓を以て其の流
 糸にがさ抱くは其の流を以て其の流
 の流をあひくは其の流を以て其の流
 などの流を以て其の流を以て其の流
 かふまの随筆を以て

新增 節用大全 横切本 全一冊
 四声 近刻 真字附

教百種の節用集のまねく世におもむくことあり
 便利なり且訓讀の家かたは次より文字
 をとりもとの節用集のまねく世におもむくことあり
 節用集の大全ありそのまねく世におもむくことあり

新橋南大阪町 伊勢屋忠右衛門

真草 千字文 正面摺

朗詠 淡紅帖 同

月並消息 全一冊

右三帖ハ橋本蔭大人の書也此先生の書を
 王羲之書 周府君之碑 正面摺

周府君之碑 正面摺

擬古帖 同

御家改春帖 折本一冊

袖玉狂歌集 全二冊

紅毛 聖藥 玉露飲 一名薄荷圓 ○一包價銀二匁

一才一乳付同ひいぶがとあは 一積痞上逆疾咳一切より久ゆり 一肌痛肩背強急逆の痛
 眼胞ふらふらしくは 一中暑霍乱嘔吐小用ひて 一小児痲瘋諸病急逆の痛
 風不利即強あり 一瘧瘧序逆を煩阿のれ絶る小用ひて 一婦人子宮衝逆及
 不調ふり 一瘧瘧血暈白濁のり 一即効あり 一瘧疾截薬より 一癩病
 小用ひて大瘧あり 一邪熱を退け氣の程れき清なる 一中風逆倒し用ひて 一忽回生する
 と奇効あり 一血血不止をみふとあは 一耳の痛又ハ瘧の出本なるみふ解入とは
 一湯火傷ふり 一酒毒を解二日碎ゆり 一法の出蟹たふす
 其外功効多しとくとも流塔丸記をみふしを 能くふ季一

賣弘野まふせり
 泉州貝塚宿 救生堂製

松屋高田先生著書

擁書漫筆

四卷

何れきの考ふ世俗をどあは
 とあはしめりしるき過筆やう

擁書二筆

四卷

武藏文苑志

六卷

武藏國の名所のなまらあがて中よ少き歌とあらう
 又ふあやの墨物ある多一首づを學べ地名の考を流る

古今叢談

三卷

外代より今よいなるまで何れきの事略を平假名
 せやらうげて俗をくくし勸善懲惡の教の書く

擁書漫筆



此等昔物借字拾遺を以て
辨らざるははた十強なり

慕景集標註

一卷

太田右権入道の歌集に標註を加えて之を
是權の事跡を是證とせし書なり

東都書林

麴町平川町壹丁目

角丸屋甚助

京橋銀座二丁目

松屋要助

新橋南大坂町

伊勢屋忠右衛門

文化十三年十二月刻成
同十四年三月發兌

